

2025 年度 事業実施報告

1. 人材開発・養成事業

(1) 人材スキルアップ定期コース（7月・10月・2月）

7月期（職場実習コース）は、2025年7月15日（火）～8月4日（月）に実施しました。職場実習にエントリーした会員は9会員、職場見学にエントリーした会員は1会員、受講希望者6名、修了者5名、就職者3名（うち会員企業2名）になりました。10月期（主に障がいのある方を対象）は、2025年10月14日（火）～11月4日（火）に実施しました。職場実習にエントリーした会員は10会員、受講者6名、修了者3名、就職者3名（うち会員企業1名）となりました。2月期（職場見学コース）は、2026年2月2日（月）～2月6日（金）に実施しました。職場見学にエントリーした会員は8会員、受講者6名、修了者6名でした。職場実習にエントリーした会員合計数は、延べ19会員、職場見学にエントリーした会員合計数は、延べ9会員、受講者18名、修了者14名、就職者6名となりました。

（2024年度は、職場実習にエントリー会員延べ20会員、職場見学にエントリー会員延べ10会員、受講者16名、修了14名、就職4名）

(2) 人材スキルアップ随時コース

人材スキルアップ随時コースは、時期や期限を設定せず、スキルアップ受入れエントリーをいただいた事業所に職場実習を依頼し、実施するものです。今年度は19会員で実施し、受講修了者は23名であり、うち7名が就職しました。（2024年度は、14会員・21名修了・10名就職）

(3) 大阪府域支援学校等との連携

近年、支援学校等の生徒においては、少子化に加え、卒業と同時に就職を希望する生徒が減少しています。また、希望する職種の多様化と偏在化の傾向もあり、職種変更をする事例もありました。このような状況の下、多くの会員企業にご協力いただき、職場実習につきましては、50会員で249名を受け入れていただきました。また、雇用については25会員で就職者61名となりました。

（2024年度は、職場実習35会員・159名、就職者22会員・65名）

C－STEP事務所内で実施しています「模擬職場実習」につきましても、5月初旬に開始しました。その結果、21校から48名の生徒の参加がありました。（2024年度は、18校72名）

2. 就職マッチング事業

(1) 就職マッチングへのエントリーと職場見学会

就職マッチングにおいて、求職者の阻害要因としては、障がいがある方、若年未就業者、中高年齢者が多く、また重複課題を抱える求職者も多く見られました。求人状況としては、介護職（介護補助含む）やスーパーマーケット（バックヤードや調理補助）、事務所内軽作業や事務補助、飲食サービス業、清掃等で求人が多く、積極的にマッチング事業を展開してきました。一方、人材不足の職場においては指導担当者の不足も深刻であり、職場実習を受け入れる時間的余裕がないなど実習自体が困難になるケースが増えています。

大阪府ケース連絡協議会を通じてヒアリング（面談）した方は、69名（継続21名・新規48名）あり、仮登録（エントリー）しました。エントリー数は昨年より4名減少しました。「求人（雇用）情報カード」を提出していただいた会員企業の協力の下に職場見学を実施し、就職マッチングに取り組みました。「求人（雇用）情報カード」55件に対して職場見学会を47回実施し、18名の方が就職しました。（2024年度は、求人情報カード73件・職場見学会37回・19名就職）

(2) 会員訪問

求人情報の収集や職場実習先の確保、C－STEPへの要望、就職困難者雇用に関する意見交換を行うため会員企業の訪問を行ってきました。今年度も各職員が担当エリアを決め、訪問強化月間を設定するなど精力的に取り組みました。結果、訪問回数は、延べ741回（2024年度は920回）となりました。その内、具体的に求人情報について提案や意見交換したのは、205件であり、求人情報カードの提出は55件となりました。

(3) 在職者の職場適応

在職者の定着支援として、延べ307回訪問し（2024年度は336回）、就職者各々の課題に応じた支援活動を行ってきました。ケースによっては、障害者就業・生活支援センターや就労移行支援事業所などの支援者とも連携しています。その結果、定着率は地域就労支援センターからエントリーのあった就職者は100%（15名中15名在籍）、支援学校等を卒業した就職者も100%（65名全員在籍）となりました。課題のあった事例としては、①職場実習と就労の違いに戸惑うケース、②コミュニケーションに関する相談、③私生活を含む生活相談等多種多様な相談事例がありました。これらの課題克服のためには、面談を通して個々の課題を明らかにし、企業担当者や支援者、家族とも情報共有しつつ連携支援を行っています。

(4) 会員貢献度評価顕彰

第19期評価・顕彰については、2025年4月～2026年3月の1年間を評価期間として実施しました。下記の委員各位による「評価顕彰システム検討委員会」を2026年4月14日に開催し、エントリー会員379会員の中から就職マッチング賞13会員、人材開発・養成貢献賞13会員、会員貢献賞5会員、NEWチャレンジ賞1会員が厳選な審議の中で決定されました。感謝状の贈呈は「2026年度通常総会」に併せて行いました。

3. 教育庁ハートフルオフィススーパーバイズ事業

大阪府教育庁ハートフルオフィススーパーバイズ事業を2021年10月より事業受託しています。本事業を実施するにあたり、毎月定例で就労支援検討会議を行いました。定例会議では、訓練生一人ひとりの支援計画を検討し、指導員等が作成する「指導プログラム」に反映しました。また、指導員とは、職業適性の評価スキル、訓練生の研修プログラムに対する助言、実習先等の開拓・選定に要するノウハウ等について意見交換とアドバイスを行いました。また、会員企業の会社見学会やC－STEP事務所内での模擬職場実習を行うなど、就労に向けての支援事業を行いました。加えて、年度末には、教育庁ハートフルオフィス事業の改善点や教育庁における障がい者雇用の促進策

について提言を行いました。その結果、今年度は5期生1名のうち1名が会員企業への就職が決まりました。

4. 情報発信・研究開発事業

(1) 広報・情報提供

広報誌「C-STEPニュース」を、9月・12月・3月に発行しました（各回1500部）。主な記事内容は、C-STEP事業の報告と案内、採用に向けた企業の取り組み、就職者の声などです。また、ホームページでも閲覧できるよう発信しています。

(2) 雇用問題研究会

- ・ 日 時：1月21日（水）14時～16時
- ・ 会 場：大阪府立男女共同参画・青少年センター
- ・ テーマ：「誰もが働ける職場に～ユニバーサルな職場をめざすフレンチレストランの実践～」
- ・ 主 催：一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター
- ・ 後 援：大阪府 大阪市 大阪労働局 （公社）関西経済連合会 大阪商工会議所
朝日放送テレビ MBSテレビ 関西テレビ放送 テレビ大阪 読売テレビ
- ・ 参加者：89名

(3) 人と仕事をつなぐ企業の集い

① 企業見学会

- ・ 日 時：11月18日（火）14時～16時
- ・ 会 場：株式会社かんでんエルハート
- ・ 対 象：企業・支援学校等で障がいのある方の就労、雇用、職場定着に関わっている方
- ・ 参加者：21名

② 支援学校見学会

- ・ 日 時：11月20日（木）10時～12時
- ・ 会 場：大阪府立なにわ高等支援学校
- ・ 対 象：企業で障がいのある方の雇用、職場定着に関わっている方
- ・ 参加者：37名
- ・ 主 催：人と仕事をつなぐ企業の集い2025実行委員会 （後援：大阪労働局）

(4) 会員情報の収集

会員から毎年度提出していただく会社概要届並びに市町村会員連絡票の内容に基づき、最新の情報把握に努めました。収集入力した概要届等は、653企業（収集率77.9%）・44府市町村・2団体となりました。（2024年度は、656企業・77.8%、44府市町村・2団体）

5. ネットワーク構築等事業

(1) 地域就労支援センターとの連携

C-STEP事業の活用促進を図るため、大阪府・市町村就労支援事業推進協議会と連携し、市

町村各地域ブロック会議への参加や各地域就労支援センターへの訪問を実施してきました。その結果、岸和田市では、産業政策課と連携し「きしわだ障害者就職模擬面接会」を実施しました。また、松原市において「若者自立支援・就労セミナー&相談会」を共同で開催しました。

(2) 一般財団法人大阪府人権協会との連携

(一財)大阪府人権協会と共同体を組み「大阪府就職困難者就労支援事業」を実施しています。具体的には、府下の市町村人権協会・人権地域協議会へ訪問し、就労相談内容の掘り起こしと窓口での課題について意見交換しました。同時に各地域就労支援センターへも訪問し、C-S T E P事業の紹介と活用方法について話し合いました。

(3) 一般社団法人ヒューマンワークアソシエーション(愛称:「Bサポ」)との連携

「Bサポ」では、大阪市旭区の生活困窮者相談事業や守口市のくらしサポート事業を担うなど活動エリアも拡大しています。就労準備支援事業参加者をC-S T E Pマッチング事業に誘導するなど諸事業について連携しました。

(4) 有限責任事業組合大阪職業教育協働機構(A´LLP)、A´ワーク創造館との連携

C-S T E Pは有限責任事業組合の一員として諸事業への運営協力を行っています。また、A´ワーク創造館(大阪地域職業訓練センター)で実施している職業訓練事業や能力開発事業の各種講座について広報(講座案内)と参加者募集の協力を行いました。

(5) 障害者就労継続支援事業所、就労移行支援事業所との連携

障害者就労継続支援事業所、就労移行支援事業所との連携については、これらの事業を行う既存の会員事業所をはじめ、全国就労移行支援事業所連絡協議会や大阪府就労移行支援事業所連絡会と連携協力をすすめてきました。

6. その他事業

(1) 就職者支援の会「ひまわり」の支援

就職者支援の会「ひまわり」は、役員会(3回)を開催し、会報の発行(3回)を行いました。また、6月28日に通常総会と懇親会開催しました。12月13日に開催した秋の経験交流会には19名の参加がありました。

(2) 平和・人権・福祉に取り組む活動への参加協力

C-S T E Pの目的である「すべての人権が尊重される豊かな社会の実現に寄与する」(定款第3条)を実現するため、前述のネットワークに加え、公正採用・雇用促進会議、世界人権宣言大阪連絡会議、同和問題解決・人権政策要求大阪実行委員会、えせ同和行為等根絶大阪連絡会議、N P O法人ニューメディア人権機構、N P O法人ふーどばんく O S A K A、(一社)おおさか人権ネットワーク、(一財)アジア・太平洋人権情報センター等々「平和・人権・福祉」の取り組みに積極参加してきました。